

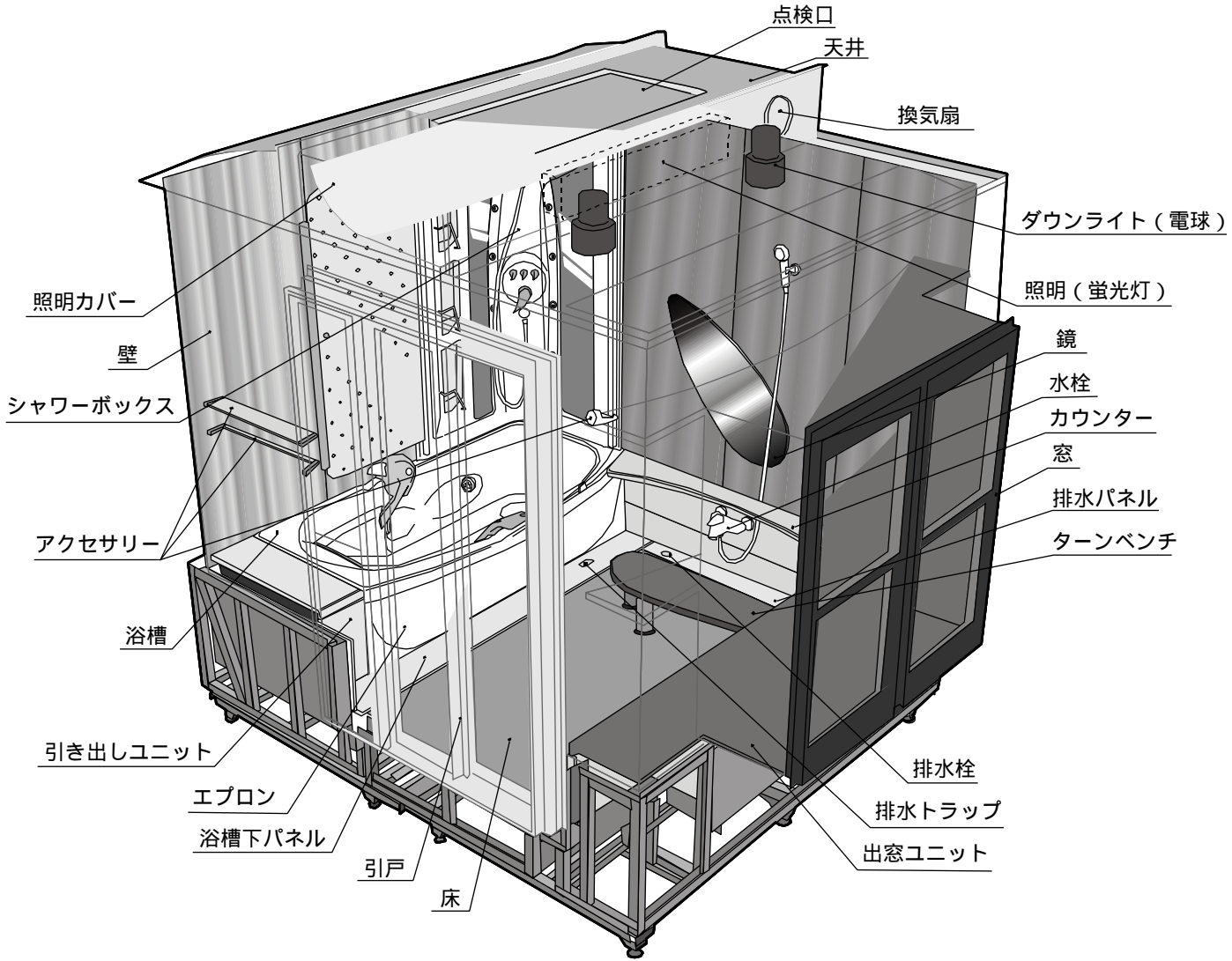
バスルームユニット
ドゥーシュ
douche

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。
取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

| | | |
|-----------------|-------|------|
| もくじ | | |
| 安全上のご注意 | ----- | 1~2 |
| ご使用に際して | ----- | 3~4 |
| 浴槽使用方法 | ----- | 4~6 |
| 水栓・シャワーボックス使用方法 | ---- | 7 |
| 照明器具について | ----- | 8 |
| お手入れ方法 | ----- | 9~10 |
| 廃棄について・保証について | ----- | 10 |
| アフターサービスについて | | |
| 製品仕様 | ----- | 裏表紙 |



安全上のご注意



必ずお守りください

ここに示した注意事項は、



守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


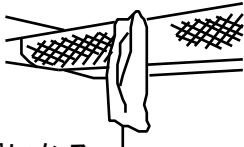






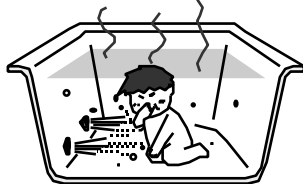
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|--|--|
|  警告 | この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
|  注意 | この表示の欄は「障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。 |

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

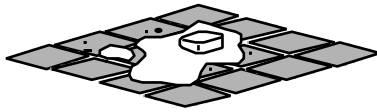
| | |
|---|----------------------------|
|  | この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

警告

| | |
|--|--|
| <p>照明器具をふさいだり、タオルなどを掛けしないでください。</p>   <p>過熱して、火災の原因になる恐れがあります。</p> | <p>照明器具のカバーを外して使わないでください。</p>  <p>電球が割れてけがをしたり、感電する恐れがあります。</p> |
| <p>照明器具や換気扇のお手入れは、電源スイッチを切ってから行ってください。</p>  <p>感電やけがをする恐れがあります。</p> | <p>風呂ふたに乗ったり、体重をかけたりしないでください。</p>   <p>おぼれたり、やけどをする恐れがあります。</p> |
| <p>次の方はジェットバスを使わないでください。 [妊産婦・心臓疾患のある方・高血圧の方・泥酔者]</p>  <p>身体に異常をおこす恐れがあります。</p> | <p>ジェットバスの運転中は、もぐったりしないでください。</p>   <p>運転中にジェット吸い込み口に吸い込まれておぼれたり、けがをする恐れがあります。</p> |

 注意

床が石けんや湯あかでぬれている時は、洗い流してください。



ころんでけがをする恐れがあります。

排水口にシンナー等の溶剤を流さないでください。



排水部分が損傷して、水もれの原因になることがあります。

器具の位置をかえたり、新しく取り付けるときは、必ず販売店などにご相談ください。



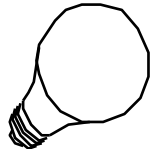
誤った取付けをすると、思わぬ事故や水もれの原因になることがあります。

浴室の点検口のフタは、設備点検時以外は絶対にあけないでください。



フタが外れて、けがをしたり、水もれの恐れがあります。

電球は指定のワット数と形状のものをお使いください。



ワット数や形状が異なると、火災の恐れがあります。

壁・床・天井などにかたいものをぶついたり、クギうち、穴あけなどは絶対にしないでください。



水漏れの原因になります。

殺菌システム可動中は入浴をしないでください。



人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。

ジェットバスを使うときは10分程度を限度にしてください。



心臓に負担をかける恐れがあります。

お湯を使うときは、必ず湯温を確かめてお使いください。



高温のお湯が出てやけどをする恐れがあります。

お湯が出ているときや止めた直後は、金属部にふれないでください。



やけどをする恐れがあります。

浴室内で使われる洗剤・パイプ用洗剤・殺虫剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示にしたがって正しくお使いください。



使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、浴槽本体や機器類をいため、水もれや故障の原因になることがあります。

シャワーを使っているときは、他の水栓を使わないでください。



湯温が急上昇してやけどをする恐れがあります。

組込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項をお守りください。

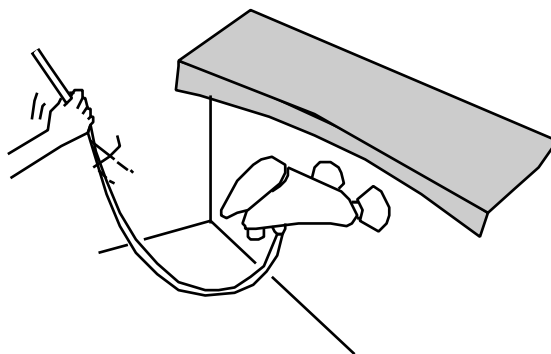


使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

ご使用に際して

シャワーホースを無理に引っばつた、ねじったりしないでください。

水栓金具が破損して、水漏れの原因になります。



浴室灯の交換時は必ず電源スイッチを切ってください。

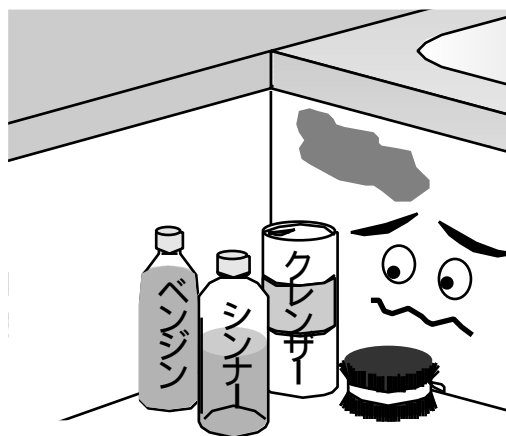
新しい電球は現在使用されているものと同じものをご使用ください。

ゴムパッキンは、照明器具内への湿気の侵入を防ぐためのものです。交換の際にも必ずセットしてください。

お手入れの際、シンナー・ベンジン・粒子の粗いクレンザー・タワシ等は、使用しないでください。

浴槽やエプロン・シャワーボックスには酸類やアルコール類の洗剤は避けてください。

変質・変色の原因になります。

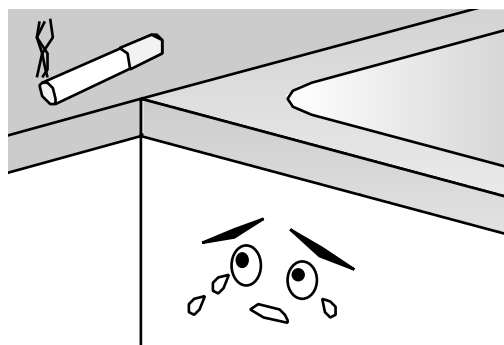


温泉水・硫黄分の入った入浴剤、酸性、アルカリ性の強いものは、使用しないでください。

浴槽、ポンプ配管の寿命を縮める原因になります。

浴槽・床・壁・カウンター・窓枠などにタバコなどの火気を近づけないでください。

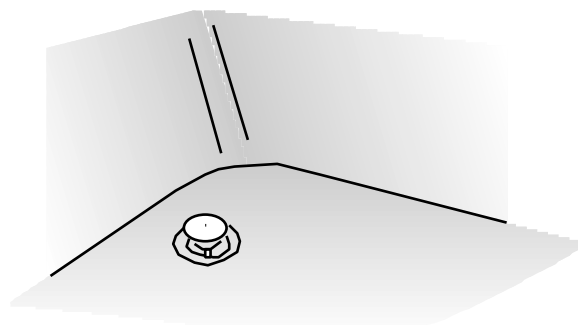
変質・変色する恐れがあります。



凍結による故障を防ぐため、入浴しない時に凍結の恐れがある場合は、浴槽の水は全て排水してください。

ご使用後は、浴槽のふたを閉め換気扇を回すか、窓を少し開いて十分な換気をしてください。

悪臭やカビの原因になります。



ジェットバス使用上の注意

1) ジェット噴流システム及び気泡発生システムを使用する際には浴槽内で石けんを使用したり、水に発泡剤を加えたり入浴剤を入れ過ぎたりしないでください。

多量の泡が発生し、ポンプなど機械の故障の原因になります。

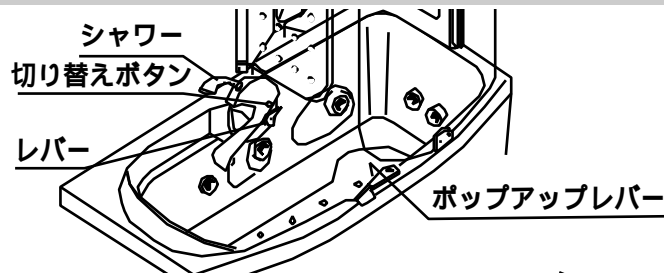
2) ジェット噴流システム使用中のポンプの誤操作を防ぐため吸い込み口にジェットノズルを向けたり、吸い込み口を塞いだりしないでください。

故障の原因になります。

3) ジェット噴流システムを使用する際はジェットノズルを全て塞いだ状態で使用しないでください。

故障の原因になります。

浴槽使用方法

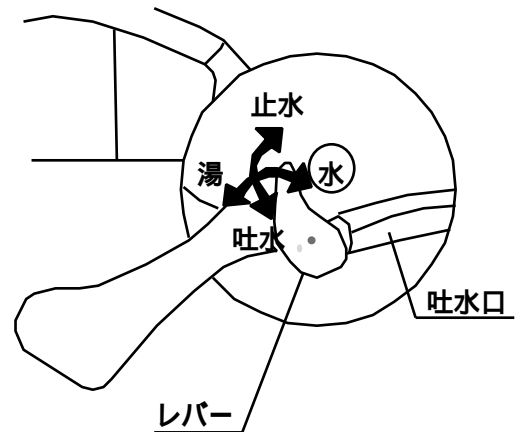


給水給湯方法

シャワー付吐水口にありますがレバーにより給水給湯を行います。

レバーを手前に起こして吐水を行い、レバーを戻すと止水できます。吐水量はレバーの前後で行います。

水温調整はレバーを左右にまわして調整します。
(左へまわして湯 右へまわして水)



浴槽内シャワーの使い方

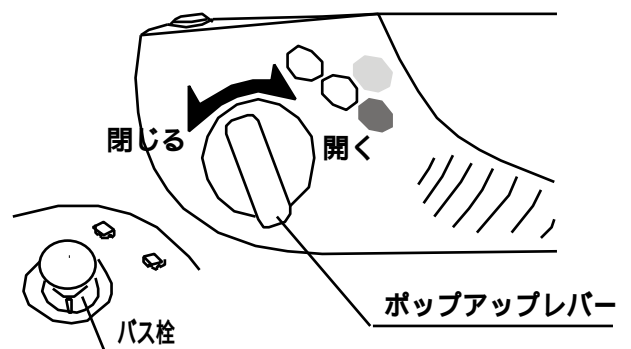
まずレバーで吐水を行い、レバー上部の切り替えボタンを押してシャワーに切り替えます。

シャワーを止める場合はレバーをもとに戻します。



バス栓の開閉

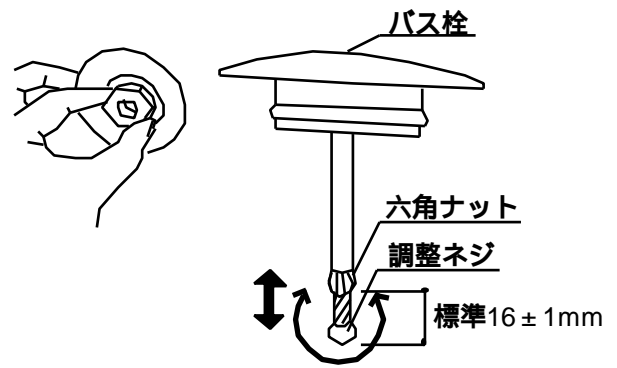
浴槽の操作パネルの下部にありますポップアップレバーによりバス栓を開閉できます。排水の場合はポップアップレバーを右に回すとバス栓が上がり水を抜くことができます。



バス栓の調整

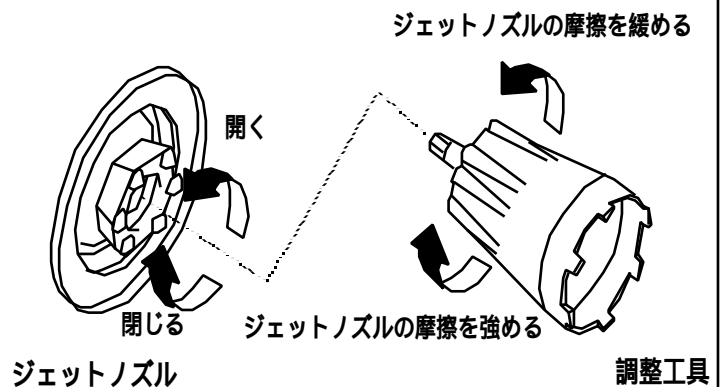
バス栓の調整は排水口より、バス栓を引き抜き、バス栓元の調整ネジの長さを調整して排水・止水の最適な長さを決めます。

- A. バス栓を閉じて、お湯が抜ける場合六角ナットをゆるめ、調整ネジを少し短くします。調整が終わったら、六角ナットを締め付けます。
- B. バス栓を開けて、お湯が抜けない場合、六角ナットをゆるめ、調整ネジを少し長くします。調整が終わったら、六角ナットを締め付けます。

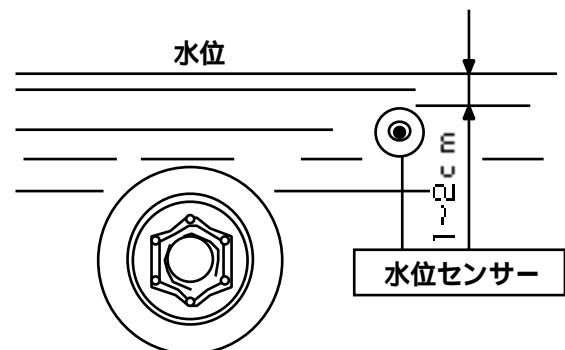


ジェット噴流システム・気泡発生システム等の使い方

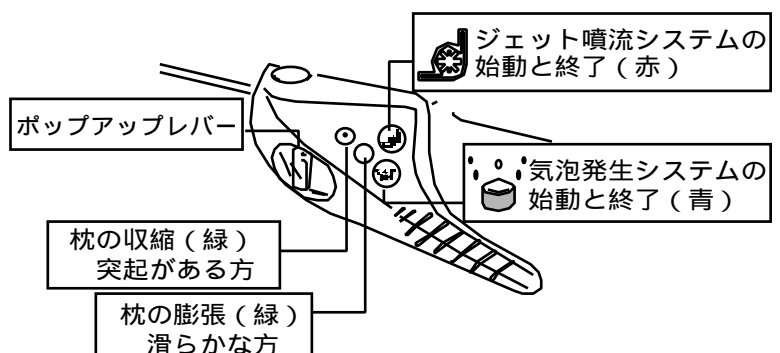
- 1) ジェット噴流システムを行う場合は忘れずにジェットノズルを開けます。
ジェットノズルは水量と渦流方向が調整可能です。ジェットノズルを左回りに回すとジェットノズルが開きます。ジェットノズルを右回りに回していくとジェットノズルが狭まり、やがて完全に閉まります。体を洗うために入浴する場合はジェットノズルを完全に閉めジェット噴流システムに入る水を止めます。



- 2) ジェット噴流システム、気泡発生システム等は水の無い状態では作動しません。必ず浴槽水位センサーの上1~2cmの水位まで給水をしてください。



- 3) ジェット噴流システムの開始/停止には赤いスイッチを押します。浴槽の底から空気を出す気泡発生システムは青いスイッチを押すと開始/停止します。2つのシステムは独立して機能していますが、同時に作動させることもできます。手動で停止しなければサイクルを選択してから30分すると自動的にサイクルが停止します。



- 4) 緑のスイッチ(2つのうち滑らかな方)を押すと枕が膨らみます。緑のスイッチ(2つのうち突起がある方)を押すと枕がしぼみます。

5) 使用時間について

最初は1日に2～3分程度にして、すこしずつ時間を延ばしてください。長時間ご使用になりますと体調をくずす場合もあります。体が慣れてきたら1日に10分程度を目安にしてください。

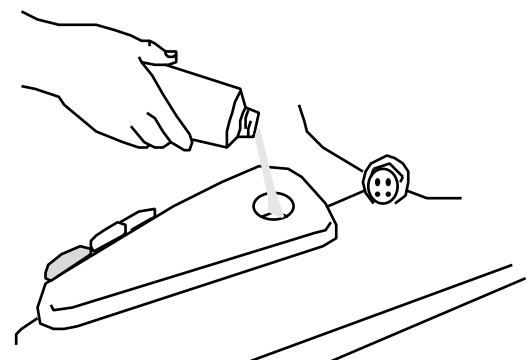
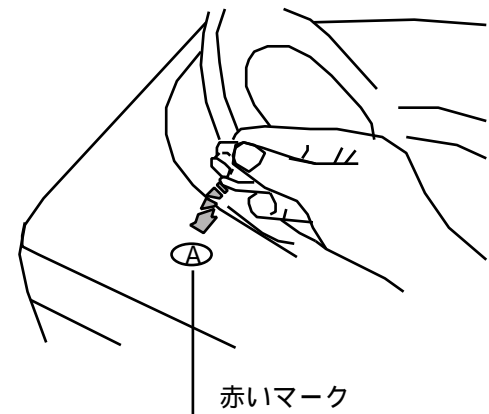
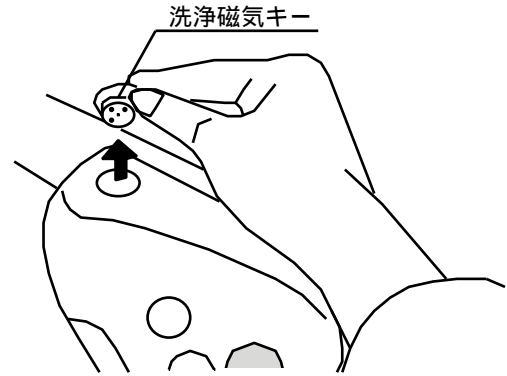
殺菌洗浄システム

殺菌洗浄システムは、配管、ジェットノズル、ポンプなど、通常の洗浄方法では手が届かないようなジェット噴流システム内部の殺菌洗浄を目的としています。水を無駄にしないためには浴槽使用後の残り湯を使用して殺菌洗浄システムを行います。殺菌洗浄システムを行うときには必ず浴槽の外に出てジェットノズルを開けてから開始してください。

操作方法は浴槽フランジ部の縁にある赤いマークに洗浄磁気キーの底面を連続して2回押し付けると殺菌洗浄システムが開始されます。ポンプが始動し数秒後に殺菌液が入ります。殺菌洗浄システムは2分間続き、開始後に途中停止することはできません。ポンプが止まると殺菌洗浄システム終了です。浴槽の水を抜いて空にしてください。

殺菌液は浴槽の操作パネルの上部にあります洗浄磁気キーを外し補充します。殺菌液のタンク容量は1リットルで約12サイクル行うことができます。タンクが空になるとシステムは始動しません。殺菌液は市販の塩素系排水パイプ用洗浄剤(アルカリ性)を注意書に従いご使用ください。

赤いマークに洗浄磁気キーの下部を連続して2回押し続けても殺菌洗浄システムが始動しない場合はもう一度次の確認を行ってください。タンクに殺菌液が入っているか。水位センサー上少なくとも2cmの位置まで水が入っているか。

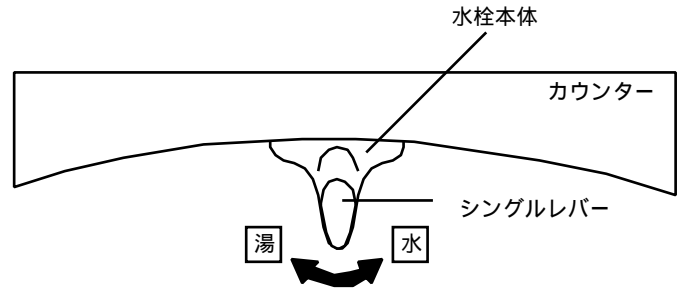


水栓使用方法

水栓の使用方法

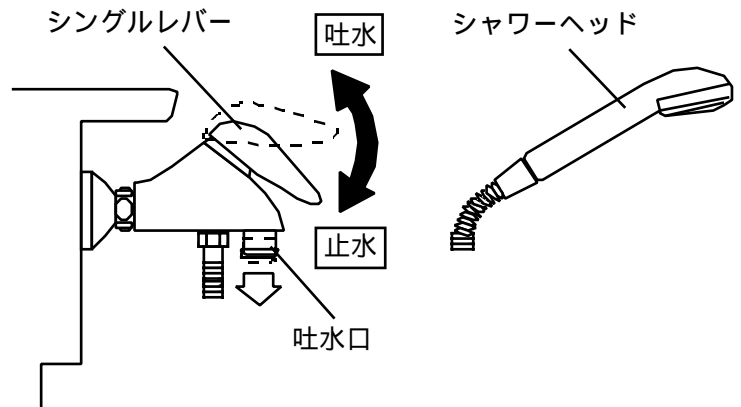
水栓の吐水及びお湯の温度調整は本体のシングルレバーで行います。

シングルレバーを上げて吐水、下げて止水です。温度調整は吐水しながらシングルレバーを左に回し温度を上げ、右に回して温度を下げます。



シャワーの使用方法

シャワーへの切り替え方法はまずシングルレバーで本体から吐水し適度な温度に調整します。次に本体吐水口をつまみ下に引きます。するとシャワーヘッドからの吐水へ切り替わります。止水方法は本体の止水同様シングルレバーを下げます。



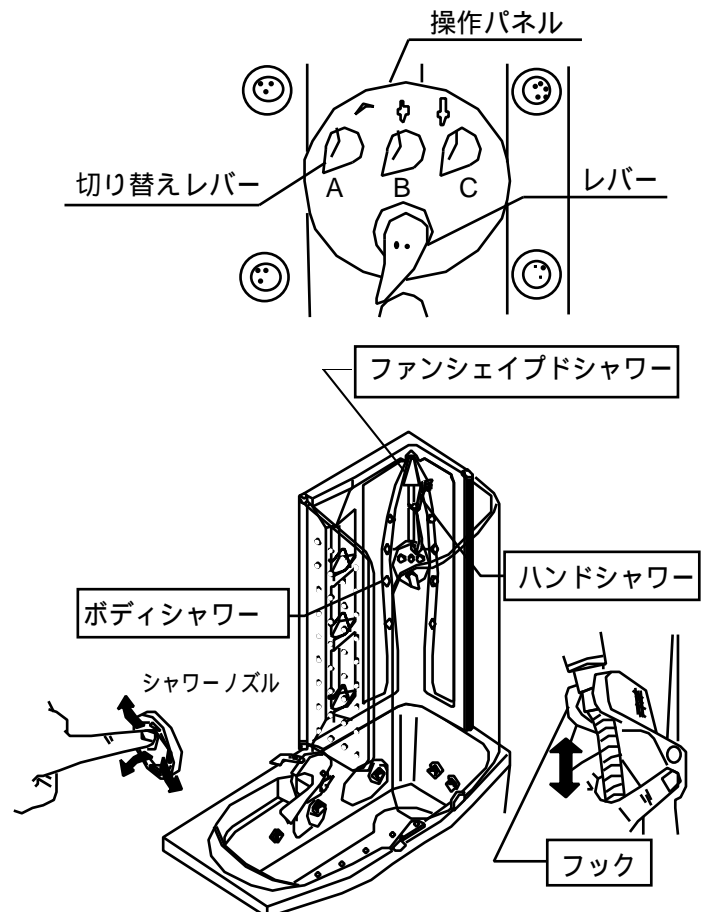
シャワーボックス使用方法

シャワーシステム

シャワーはシャワーボックス内の操作パネルのレバーで行います。レバーを手前に起こしてシャワー吐水を行い、レバーを戻すと止水できます。吐水量はレバーの前後で行います。水温調整はレバーを左右にまわして調整します。

シャワーボックス内のシャワーは3通りの使い方があります。レバーを吐水の状態にし3つの切り替えレバーでシャワーを選びます。3つの切り替えレバーは左に回し止水、右に回して吐水です。

左側 (A) がハンドシャワー切り替えレバーです。ハンドシャワーはフックに掛けたりフックの高さが調整できます。中央 (B) がボディシャワー切り替えレバーです。12個のシャワーノズルは指でシャワー方向が調整できます。右側 (C) がファンシェイプドシャワー切り替えです。シャワーボックスの上部より扇状にシャワーが吐水されます。



照明（蛍光灯）・ダウンライトの取り替え方法

脚立等を利用し足場をつくります。

浴槽やカウンターには危険ですので絶対登らないで下さい。



ダウンライトの取り替え

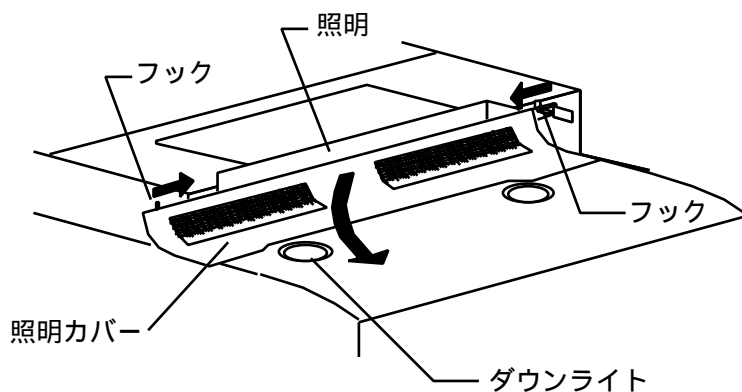
・使用電球は ビーム球 口金径 E26 60W 散光形 をご使用下さい。

推奨ランプ : National ハイビーム球 75形 散光形 BF110V60W)

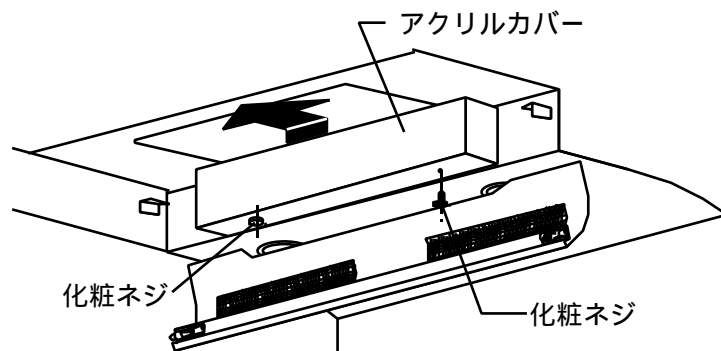
照明（蛍光灯）の取り替え

- 1) 照明カバー両サイド上面のフック2ヶ所を内側にスライドさせ照明カバーを外します。

照明カバーはフックを2つとも外してから天井内側にキズを付けないよう注意して降ろします。

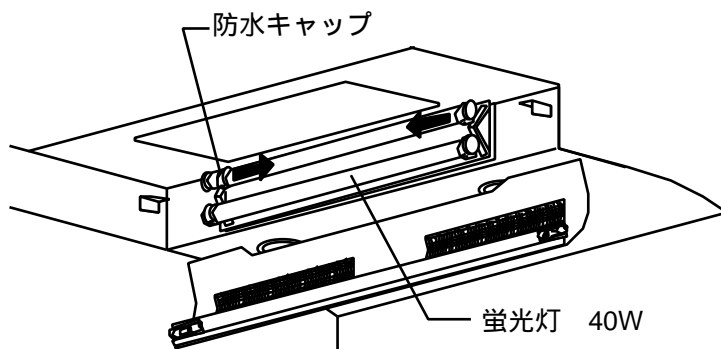


- 2) アクリルカバー下面の化粧ネジ2ヶ所を外し、アクリルカバーを少し持ち上げてからアクリルカバーを外します。



- 3) 蛍光灯両サイドの防水キャップを外し、防水キャップごと蛍光灯を外します。

・使用電球は 40W 白色蛍光灯をご使用下さい。



推奨ランプ : National FLR40S・W/M-X・36、FLR40S・W/M-X)

- 4) 新しい蛍光灯に防水キャップを差し込み、外した逆の順序で取り替えます。

お手入れ方法

アクリル浴槽・人工大理石・床・壁・天井

- ・湯アカや汚れは、乾いてからでは落ちにくくなりますので、ご入浴後排水するときに、スポンジかやわらかい布でかるく水洗いするか、中性洗剤で汚れを落とし十分に水洗いをしてください。

出窓ユニット・ターンベンチ

- ・通常のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。
- ・汚れは、中性洗剤をやわらかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

排水

- ・排水栓（目皿等）、排水トラップに毛髪やゴミがたまると排水機能が低下し、悪臭の原因になったり、床面に水があふれたりしますので、週に一回程度掃除してください。
- ・又、取り除いたゴミ等は排水栓の中に流さないでください。配管が詰まる原因になります。

器具類

- ・アクセサリ（タオルハンガー・シェルフ・フック）、水栓などは週に一回程度乾いた布で拭いてください。
- ・年に2回程度ミシン油かシリコン油を浸した布で拭いていただきますと、いつまでも美しい光沢が保てます。

浴槽・床・壁・天井の目地

- ・浴槽、床、壁、天井の継ぎ目部分にはシリコンシーリングが施されています。ゴミ、汚れがつきやすくカビが発生することがありますので週に一回程度、スポンジかやわらかい布に中性洗剤をつけ汚れを拭き取ってください。目地剤（シーリング）は防水性能上大切な役割をはたしていますので傷つけたりしないように注意してください。
- ・アルカリ性、酸性の洗剤の使用は絶対に避けてください。

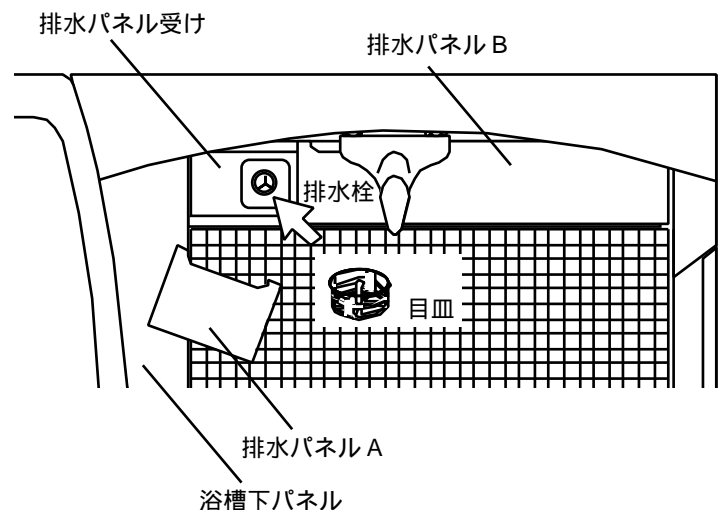
浴槽・シャワーボックスのゴム質部

- ・汚れは、市販の界面活性剤入り住宅・家具用合成洗剤を使用して拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

排水の掃除方法

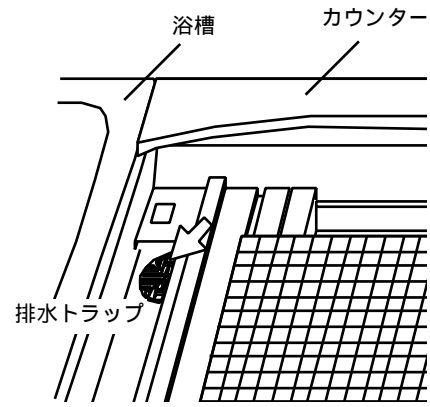
排水栓の掃除方法

- 1) 排水パネル A を取り外し、排水パネル受けの開口穴から排水栓内の目皿を取り出しゴミ等を排除します。

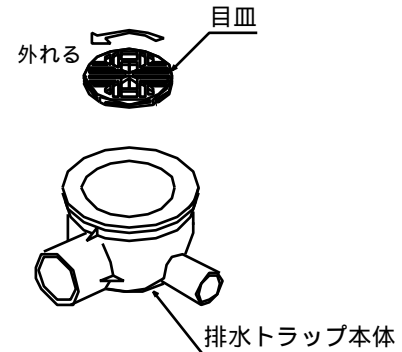


排水トラップの掃除方法

- 1) 排水トラップの掃除は、排水パネルAを取り外し、次に浴槽下パネルを取り外します。
(前ページイラスト参照)



- 2) 矢印部に排水トラップがありますので、目皿を左に90度回転させ取り外します。目皿のゴミ等を取り除き、外した逆順序でパネル等を収めます。



廃棄について

バスルームユニット及び浴槽を廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

保証について

1.保証範囲と保証期間

- ・お客様へのお引き渡しを致しました日の翌日から起算して、防水性能の暇^{かし}底については2年間、その他の性能の暇底については1年間、無償で保証いたします。

(注) なお、暇底とは、お引き渡しまでの間に発生した損傷・欠点により、当製品が本来備えているべき性能を満たしていない場合の損傷・欠点を指します。

(注) また、防水性能とは通常の使用状態で浴室外へ漏水しないことをいいます。なお、出入り口とびらのがらりや浴室周囲からのハネ水、および特に悪影響を与えない程度の水滴などは対象外とさせていただきます。

2.保証内容

- ・暇底についてお客様よりご指摘があり、弊社においてもその旨が認められた場合、無償にて修理、または、部品の交換をいたします。

3.免責事項

次にあげる事項に該当する場合は保証を免責させていただきます。

- ・火災や不可抗力により生じた損傷。
- ・不適当な配線、配管、建物のゆがみなど、バスルームユニット以外の原因による損傷。
- ・正常な使用方法(「取扱説明書」に記載された使用法など)以外により発生した損傷
- ・設置後の仕様変更、改造による損傷および故障。
- ・照明器具、水栓類のパッキングや、電球などの消耗品。
- ・弊社のバスルームユニット部品以外のものを使用して起きた損傷・故障。

尚、必ずしも上記の事項に当てはまらないケース等は、ご相談の上判断させていただきます。

アフターサービスについて

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき異常のあるとき、
又はお気づきの点がございましたら、工事店・販売店、又は下記の
トーヨーキッチンお客様相談室にお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容

ご氏名 ご住所 電話番号 お買い上げ日 異常の内容 品番


製品仕様

| 仕様 | 電圧 / 周波数 | 消費電力 (W) |
|--------|----------------|--|
| 浴槽 | 100V 50 / 60Hz | 1100 / 1500W ヒューズ 3A(20mm) |
| 換気扇 | 100V 50 / 60Hz | 8.5 / 10W 換気風量 110m ³ /h |
| 照明 | 50Hz・60Hz 専用 | 蛍光灯 40W × 2 灯 |
| ダウンライト | 100V 50 / 60Hz | ビーム球 60W × 2 灯 散光形 (口金径 E26) |

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される時お役に立ちます。


| | |
|--------|-------------------|
| ご購入年月日 | 平成 年 月 日 |
| 購入店名 | 電話 () - |


 トーヨー工業株式会社

〒501-32 岐阜県関市下有知6315-1
電話 0575 (22) 1234 (代)

Design Quality Function

TOYO KITCHEN

 トーヨー工業株式会社 [®]

お客様相談室  0120-104078

〒107 東京都港区南青山5-11-14

P9WP-TR71

7.12